

始良市衛生協会だより



親子で挑戦、エコクッキング！

体験型親子環境教室 第2弾

【令和元年11月2日（土）かごしま環境未来館にて親子6組16名が参加】

鹿児島県立短期大学 生活科学科の木下 朋美 助教授を講師に招き、お茶とその茶がらを使用したエコクッキング教室を開催しました。メニューは、ほうじ茶ナン、茶がら入りドライカレー、茶がらとおからのエコ&ヘルシーケーキの3品。参加者はお茶がらを使った料理がどのように出来上がるか興味津々で、児童・保護者それぞれ分担して調理を実施。茶がらの分量を間違えるなどのアクシデントもありましたが、どの班もおいしく完成品をいただくことが出来ました。



◆ 参加者の感想 ◆

エコクッキングの感想

- ・お茶がらを使ったケーキがおいしかった。
- ・簡単においしく作ることができ、子供もよく食べてくれたので、今後自宅でも作りたい。
- ・今まで捨てていたもので、とってもおいしい料理ができ、栄養もとれ、とっても勉強になった。

ごみを減らすために自分でチャレンジしたいこと

- ・買い物をする時は、エコバックを使う。
- ・エコクッキングをやって、残さず食べる。
- ・食料を無駄にしないように、もっと考えて料理を作っていこうと思う。
- ・買い物する時にエコバッグ使い、材料を計画的に選んで無駄にしないように心がける。



生ごみ堆肥化の調査・研究事業

【令和元年 11 月 20 日（水） 始良市内の業者 3 社を視察】

11 月 20 日（水）、今年度の新規事業の 1 つ、生ごみ堆肥化の調査・研究として、衛生協会理事 9 名及び事務局が市内の業者 3 社を視察しました。今回、手法がそれぞれ違う 3 社を調査しましたが、ごみ減量化の課題として始良市外やその他の様々な取り組みも調査・研究していく予定です。



生ごみ堆肥化の取り組み、ごみステーション補助金等について学ぶ

【令和 2 年 2 月 7 日（金） 衛生協会理事視察研修 さつま町、薩摩川内市】

2 月 7 日（金）、協会理事視察研修として 22 名がさつま町と薩摩川内市で視察研修を行いました。

生ごみ堆肥化の取り組み

さつま町では、令和元年 6 月から生ごみ堆肥化の取り組みを始めており、全ての可燃ごみステーション約 500 箇所にはバケツを設置し、365 日生ごみを排出可能としています。

いつでも出せるため、家の中の生ごみの臭いが無くなるなどのメリットと、バケツの洗浄やプラスチック類の混入などの課題がありました。

可燃、不燃、資源ごみステーション補助金

薩摩川内市は、人口約 94,000 人と県内では始良市に人口規模が比較的によく、資源物として回収する紙類の減少や自治会未加入者への対応などの問題を抱えていました。

また、「可燃、不燃、資源ごみステーション」の設置等に対して補助を行っており、資源ごみを保管するためのプレハブ型の施設には、広さに応じて 10 万円～ 15 万円が上限として設定、可燃・不燃ごみステーションには上限 5 万円で補助を行っています。



発行先

始良市衛生協会

問合せ先

始良市 市民生活部 生活環境課 生活環境係 TEL66-3189